

委員長あいさつ

本日の課題は、植樹祭候補地の順位付け。前回6カ所から3カ所へ絞り込みを終了した。今年5月には、実行委員会を立ち上げて、その中で、最終的に候補地を決定する。準備委員会としては3候補地を順位付けして実行委員会に提出する。併せて基本構想の素案を出させてもらっているので意見を伺いたい。

全国植樹祭式典会場候補地の順位付け

事務局（資料1に沿って説明）

これまで3カ所に絞った開催候補地の中で、県警本部と安全面の問題等も含め整理したところ、その評価は、大会の開催が一般の交通に与える影響や大会参加者や一般奉送迎者などの雑踏事故防止及び快適性・安全面の確保等であり、このことは、宿泊施設から式典会場までの位置関係は、なるべく近距離で高低差が小さい方がよく、一位 とっとり出合いの森、二位 とっとり花回廊、三位 鏡ヶ成となった。

委員からの意見

平成23年には豊かな海づくり大会が鳥取で開催される。全国植樹祭の式典開催地は西部の2候補地に絞ることでどうか。

委員全員了解

条件的にはとっとり花回廊が適している。毎年1万人規模のコンサートが開催されており大人数の収容経験もある。鏡ヶ成は、岡山県境に近い。先々の利活用等を考えると、とっとり花回廊の方が利用しやすいと考える。

式典開催候補地に入らなかったところにも何らかのメリットを出してあげたい。中部で後継者大会を開催し、今回の第一位 を主会場として、二位 にも何かの配慮が必要。経費面からもとっとり花回廊かとっとり出合いの森が適当と考えていたが、先般、誘致に向けての江府町でシンポジウム等の開催が報道され、地元での努力を知った。何らかの形で、植樹祭との関わりが持てるよう考慮が必要だ。

西部2カ所で挙手による候補地を順位付け。とっとり花回廊挙手多数

委員長まとめ

第一順位はとっとり花回廊、第二順位として鏡ヶ成、第三順位はとっとり出合いの森と決した。併せて、第二位 になる、鏡ヶ成については、植樹会場としてふさわしい樹木を植え

る活動を検討、実施したい。

第 64 回全国植樹祭 基本構想の骨子案について

事務局（資料 2 に沿って説明）

委員からの意見

全国植樹祭が、平成 25 年度 5 月末から 6 月開催されるとなれば、苗木の養成期間が必要で、24 年の秋までに苗木が出来上がってないと使えない。植栽樹木の選定が急務。現在、森林の持つ意義としては、生物多様性の保全と二酸化炭素の吸収が一番大きな評価がある。開催理念では、林業だけでなく、もっと大きな枠組みの中で森林を考えるべきだ。

手入れの行きとどかない森林が増加している。森林の手入れを県民が皆理解して、里山に入ることが啓発される P R の方法も検討してもらいたい。

植樹も大切であるが、それまでのアプローチや、終わった後の手入れに関して、県民意識をどう高めるのか、本当の森づくりはどういうことなのかを伝えることが重要だ。

観光地としての山だけが森林ではなく、里山や里地も森林だ。こちらにも、県民の注意が向くように、その大切さについても伝えて欲しい。

子ども達の、緑化意識を高めるためには、その地域でとれた色々な種子を苗として育成し、生物多様性の話とも絡めて植栽するのがよい。

全国から訪れる方々のため、各県の樹木を植栽して森林を作ってはどうか。将来、また鳥取を訪れられたときに、思い出となる。

委員長まとめ

基本構想案は、実行委員会で検討されることとなるが、委員の意見を反映させ、実行委員会に送ることとする。

その他

事務局（開催までのスケジュールに沿って説明）

委員からの意見により、植栽樹木選定委員会の立ち上げを前倒しすることを追加報告。